

批判をする事しかできない国労 ～国労のウソ情報～

国労の全国貨物協議会がまた「貨物労組が社員犠牲の協力宣言」と題したビラを撒き散らかしています。国労はこれまでも、貨物労組を批判するビラを作成し、社宅や職場で撒き散らかす運動ばかりを行っています。今度は、「鉄道事業部門の赤字解消に向けて、働き度の向上や諸手当カットへの全面協力を宣言した」と書いています。

国労の間違った運動で1047名の組合員が解雇に!

国鉄時の最大組合であった国労は分割民営化の反対を叫び続け、指導部の間違った運動により、国労組合員が1047名も解雇されました。何でも反対ばかりでは組合員の雇用は守れないことを証明しました。国労自身の間違った運動を行っているのに、それを棚に上げて他方に責任を押し付け、挙句の果てにはJR貨物労組の批判が運動になっています。だから最大組合から転落したのです。

組合員を解雇させる労働組合は労働組合とは言えません!

私たちJR貨物労組は、「組合員の雇用と生活、安全を守ること」を第一に、私たちや会社が措かれている現状をしっかりと見て、組合員のための運動を推し進めています。組合員の雇用と生活を守るために会社と向き合い、今のような生活不安を将来に残さないために経営基盤を確立させることは当たり前の話です。それも考えることが出来ない国労は一体何がしたいのか分かりません! 組合員の雇用と生活を守れない国労とJR貨物労組の違いが明確となっている。

みなさん!これが国労がしてきた事実です!

明るい将来を築くために、貨物労組一丸となって運動を進めよう!